

# こぱんはうすさくら 児童発達支援 ガイドラインアンケート実施結果を公表します

こぱんはうすさくらでは、より良いサービスを提供するため、「児童発達支援ガイドライン」をもとに保護者様のご意見やお子様の成長状況を把握し、教室での今後の取り組みを明確にしていこうと、支援の質の向上とお子様の成長につなげてまいります。

## ◆ 松 戸 六 高 台 教 室 ◆

### ★保護者様からのご意見

項目	いただきましたご意見
環境・体制整備	様子を見ていないのでわからない。
適切な支援の提供	近所だと知人に会うかもしれないので、いろいろな人と触れ合うプログラムで近所の時は参加しないことにしています。
保護者様への説明等	子供の障がいの違いがあるため、保護者同士のお話は特に必要性は感じません。
非常時等の対応	避難訓練を受けていることを知りませんでした。
満足度	笑顔で行って帰ってくるので楽しんでいると思います。同じ年齢の子と遊んだり、課外教室を目的として行っているので満足です。とても優しくして頂いています。

### ★教室での自己評価

項目	改善策及び取り組み状況
環境・体制整備	未就学児が一日の流れや自分の動きを直感的に理解できるよう、キャラクターを使うなど工夫を凝らした可視化を進めています。
業務改善	児童の身だしなみにも気を配れるようにスタッフへの周知を徹底しています。
適切な支援の提供	療育のための知育教材を手作りするなど、子供を飽きさせない工夫を凝らしながら、児童のコミュニケーション能力とソーシャルスキルの向上に努めています。
関係機関や保護者との連携	日々の出来事を連絡帳や送迎時の会話でご家族へできるだけ丁寧に状況をお伝えするとともに、必要に応じて関係機関と連携して対応にあたるなど、教室内で完結してしまわないようにしています。
保護者様への説明責任等	お子様の日々の変化を克明にご家族へお伝えするように心がけています。また、当日のプログラムの効果についても説明をするように努めています。
非常時等の対応	年2回程度の避難訓練を行っていますが、今後はより精度を高めていくように努力していきます。